

～城東北地域活動委員会ニュース～

# ピースリレー2024

## ～平和の思いをつなげよう～準備進行中！



ピースリレーに向けて パルコープ全エリアの委員さんにより 準備がすすめられています。



平和の願いが込められた展示物の作成



こどもは めりえで参加



御堂筋に流されるアピール文の録音風景



折り鶴の山 何になる？



### 佐々木禎子さんって だあれ？ 原爆の子の像って なあに？

佐々木禎子さんは2歳の時、爆心地から約1・6キロの自宅で被爆し、黒い雨に打たれました。爆風で飛ばされましたが、外傷もなく、元気に成長しましたが、スポーツが得意で、将来の夢は中学の体育の先生。

しかし、小学6年で病に伏し、中学へ通うことはできませんでした。白血病の診断を受け、広島赤十字病院への入院を余儀なくされたのです。入院中、お見舞いとして名古屋から千羽鶴が贈られたのをきっかけに、「生きたい」という願いを込め、折り鶴を折り始めました。その願いもむなしく、体調は次第に悪化。8カ月間の入院生活の末、1955年秋に亡くなりました。原爆資料館は家族の証言から1300羽以上を折ったとみています

禎子さんが亡くなって3年後の1958年5月5日、平和記念公園に「原爆の子の像」が除幕されました。建立を呼び掛けたのは、禎子さんが通っていた幟町小6年竹組の同級生たちでした。禎子さんをはじめ、原爆の犠牲になった子どもたちの死を悼む像を造ろうと話を持ち掛けられた子どもたちは、ちょうど開かれていた全国中学校校長会で手作りのピラを配って賛同を求めたのです。やがて全国からたくさんの募金を送られてきて、広島市内の各学校の生徒会がつくる「広島平和をきずく児童・生徒の会」が結成され、募金活動が進められて像が建立されたのです。

5/9 中央公会堂でお披露目されます。  
楽しみにしてくださいね！



城東北地域も折鶴を折ったよ！  
平和のタペストリーも製作中



### 平和を願って みんなで御堂筋 歩いてみませんか？

## 予告

### 城東北地域商品フェア

5月22日(水) 11:00~12:30

城東組合員会館

ミニ学習会 ニッキーフーズ

「だしが決め手のたこ焼き」

試食 支所開発商品を使った  
「大人のお子様ランチ」



詳しくは5/6から配布のニュースみてね！